

(別紙) 第2号の4 別紙

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H109310000248
学校名（〇〇大学 等）	アイ・エフ・シー調理製菓大学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人三友学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		－ 人（ － ）人	－ 人（ － ）人	－ 人（ － ）人
内 訳	第Ⅰ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（ － 人）	（ － 人）	
	第Ⅱ区分	－ 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	0 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				－ 人（ － ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アイ・エフ・シー調理製菓大学校
設置者名	学校法人 三友学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	調理技術マネジメント科	夜・通信	540時間	160時間	
	調理師科	夜・通信	330時間	80時間	
	発酵醸造科	夜・通信	330時間	80時間	
	製菓衛生師科	夜・通信	415時間	80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

入学時に配布する講師一覧（実務経験については講師紹介時に公表）※情報公開スペースを設け閲覧に供する。ホームページにて公開している。
<https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アイ・エフ・シー調理製菓大学校
設置者名	学校法人 三友学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校情報公開スペースにてファイリング、閲覧可。ホームページにて公開。
<https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2025/4/1～ 2029.3.31	組織運営の統括
非常勤	株式会社役員	2025/4/1～ 2029.3.31	運営体制のガバナンス
非常勤	株式会社役員	2025/4/1～ 2029.3.31	運営体制のガバナンス
(備考) 理事5名中、学外理事3名			

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アイ・エフ・シー調理製菓大学校
設置者名	学校法人 三友学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/
収支計算書又は損益計算書	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/
財産目録	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/
事業報告書	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/
監事による監査報告（書）	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
衛生		専門課程	発酵醸造科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	1		昼	810	300		510
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
年		単位時間	810			単位時間／単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人		4 人	0 人		4 人	10 人	14 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義及び実習形式での授業、調理師法に基づいた教育目標及び教育内容にて年間の時間割を組む
成績評価の基準・方法
（概要） 学期末試験の結果により5段階評価 5→50%以上 4→60%以上 3→再試験での合格 2→レポート等による認定 1→前項目以外
卒業・進級の認定基準
（概要） 各教科科目において出席率80%以上の出席且つ学期末試験及び卒業試験での60%以上の評価を得る
学修支援等
（概要） 補習や再試験の実施により学力、技術力を補う等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （ #DIV/0! ）	0 人 （ #DIV/0! ）	0 人 （ #DIV/0! ）	0 人 （ #DIV/0! ）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	#DIV/0! %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
発酵醸造科	200,000 円	300,000 円	520,000 円	その他内訳 実習費：300,000円 施設費：120,000円 維持費：100,000円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
自己評価結果は、学校評価実績報告書に記載し、情報公開スペースにて閲覧していただけます インターネット公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校の実施する自己評価に対し、学校関係者による「学校関係者評価委員会」を設け、外部評価を実施し、学校運営の継続的改善を図ってまいります。評価項目 教育・学習成果・学生生活支援・就職支援などについて4段階評価を実施します。評価委員会の構成 関係企業1名・業界団体1名・三友学園各校卒業生3名と致します。評価結果の活用 6月までに前年度を対象に評価を受け、当年度の活動で改善方策を実施致します。総責任者：学校長		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
イトランド株式会社	2024. 4. 1～2026. 3. 31	関係企業
栃木県調理師連合会	2024. 4. 1～2026. 3. 31	業界団体
三友会(IFC調理製菓大学校同窓会)	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生(旧 IFC調理師専門学校)
新小山市民病院	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生IFC栄養専門学校
菓子店役員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業 (旧 IFC製菓専門学校)
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
インターネット公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
インターネット公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アイ・エフ・シー調理製菓大学校
設置者名	学校法人 三友学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/
収支計算書又は損益計算書	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/
財産目録	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/
事業報告書	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/
監事による監査報告（書）	インターネットによる公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生		専門課程	製菓衛生師科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼夜	930 単位時間	450		480		
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		930		単位時間／単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		5 人	0 人	3 人	11 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 講義及び実習形式での授業。製菓衛生師法に基づいた教育目標及び教育内容にて、年間の930時間、時間割を組む。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験の結果により、4段階評価。座学は、61%以上の試験結果を合格とする。実技評価試験）優、良、可、不可
卒業・進級の認定基準
（概要） 各教科科目において、法定時間数の受講、学期末試験及び、卒業試験での座学61%以上、実技評価試験において、不可以外の評価を得る。
学修支援等
（概要） 補習や別途試験の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 （ 100% ）	0 人 （ 0.0% ）	9 人 （ 100.0% ）	0 人 （ 0.0% ）
（主な就職、業界等） 菓子製造販売店、製パン店、ホテル、給食会社			
（就職指導内容） 学内進路ガイダンスの実施、個人面談、面接マナー講習、記号説明会アナウンス			
（主な学修成果（資格・検定等）） 製菓衛生師国家試験受験資格、菓子技能検定２級受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0.0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
製菓衛生師科	200,000 円	450,000 円	770,000 円	実習費400,000円 設備料
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
自己評価結果は、学校評価実績報告書に記載し、情報公開スペースにて閲覧していただけます インターネット公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校の実施する自己評価に対し、学校関係者による「学校関係者評価委員会」を設け、外部評価を実施し、学校運営の継続的改善を図ってまいります。評価項目、教育・学習成果・学生生活支援・就職支援などについて4段階評価をじっしします。評価委員会の構成、関係企業1名・業界団体1名・三友学園卒業生3名とします。評価結果の活用、6月までに前年度の評価を受け、当年度の活動で改善方策を実施します。総責任者、学校長		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
イトランド株式会社	2024. 4. 1～2026. 3. 31	関係企業
栃木県調理師連合会	2024. 4. 1～2026. 3. 31	業界団体
三友会(IFC調理製菓大学校同窓会)	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生(旧 IFC調理師専門学校)
新小山市民病院	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生IFC栄養専門学校
菓子店役員	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業（旧 IFC製菓専門学校）
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
インターネット公表 https://sanyu.ac.jp/schoolinfo/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
